

2026 年 9 月 10 日

各 位

スター精密株式会社

新工場「牧之原工場」が完成、竣工式を開催

—需要が高まるハイエンドモデルの生産能力を強化—



▲牧之原工場の外観



▲工作機械（完成機）組み立て

スター精密株式会社（本社：静岡県静岡市駿河区、代表取締役 社長執行役員：佐藤 衛）は、静岡県牧之原市に新工場「牧之原工場」を新設し、9月10日に竣工式を開催しました。

牧之原工場は、当社が2024年2月に公表した「工作機械事業の国内工場リニューアル※¹」の一環として新設した拠点で、2025年5月に着工し、2026年7月より稼働を開始しました。同工場では、当社の工作機械「スイス型 CNC 自動旋盤※²」のうち、国内でのみ製造するハイエンドモデルの組み立てや、板金部品の加工（切断・曲げ・溶接・塗装）を行います。スイス型 CNC 自動旋盤は世界的に需要が拡大しており、これに対応するため生産能力を強化しています。

当社の工作機械のコア部品を製造する菊川南工場※³と、今回の牧之原工場が完成したことで、自動盤トップメーカーに向けた生産体制の強化をさらに進めています。

■新工場の特長

1. ハイエンドモデルの組み立てと板金加工を担う新拠点

ハイエンドモデルは国内でのみ生産しており、主に医療機器や航空宇宙分野で使われる複雑な部品を高効率に加工できることが特長で、国内や欧米の企業に採用されています。近年の需要の高まりを受け、牧之原工場の新設により組み立て能力を強化します。さらに、最新鋭のパンチレーザ複合加工機を導入するなど板金部品の生産能力も強化しています。

2. 分散していた拠点を集約

これまで3カ所に分散していた板金部品の加工やユニット組み立てなどの工程を牧之原工場に集約しました。作業スペースを従来の約1.6倍に拡張し、機械に使用する板金部品の加工から完成機の組み立てまでを、機種に応じて一貫して行える体制を整備。より効率的で安定した生産を可能にします。

3. 快適な労働環境

従業員が、溶接など熱の発生を伴う工程でも安全かつ快適に働けるよう、空調設備により工場全体の温度環境を一定に管理しています。これにより、身体への負担や熱中症リスクを抑え、作業効率と品質の向上、従業員の健康と安全の確保につなげています。また、従業員の憩いと交流の場となるカフェテリアスペースも設けています。

※1：工作機械事業の国内工場リニューアルに関するお知らせ（2024年2月リリース）

https://star-m.jp/ir/files/ir_news_20240209_02.pdf

※2：スイス型自動旋盤は、金属などの材料を回転させながら、刃物を押し当てて削る旋盤の一種で、時計部品などの小型精密部品を加工する機械として、1870年代にスイスにおいて考案されました。別名「主軸移動型自動旋盤」とも呼ばれています。材料の振れ止め装置として働くガイドブッシュから一定の距離で、主軸台が把持した材料を送り出しながら加工するため、細長い部品を高精度に切削できる点が特長です。

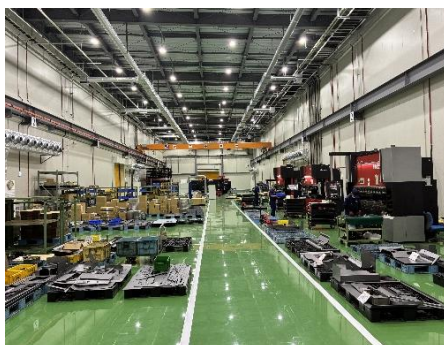
※3：菊川南工場は、2025年12月に稼働を開始した新工場で、環境配慮と製造の効率性を両立する最先端のスマートファクトリーです。詳細は以下をご参照ください。

新工場「菊川南工場」が完成、竣工式を開催（2026年2月リリース）

https://star-m.jp/wp-content/uploads/ir_news_20260205_01.pdf



▲新規導入したレーザー加工機で金属板を切断



▲製造現場



▲カフェテリア

■新工場の概要

建物名称：牧之原工場

所在地：静岡県牧之原市布引原 946

機能：ハイエンドモデルの本体組み立て

構造概要：鉄骨2階建て

建築面積：約 6,900m²（約 2,090 坪）

延床面積：約 9,100m²（約 2,760 坪）

総事業費：約 40 億円

着工：2025 年 5 月

稼働開始：2026 年 7 月

設計施工：木内建設株式会社

<本件に関するお問い合わせ先>

執行役員 機械事業部 副事業部長 佐野光司

TEL.0537-36-5511

以 上